

啓徳小 物品譲渡会



8月24日・31日の2日間、昨年度未で閉校となった啓徳小学校の物品の譲渡会が行われました。

雄信内地域の住民を対象とした24日は、かつての卒業生や昨年まで在籍していた児童らが続々と訪れ、校内を歩き回りながら椅子やデスク、ロッカー、図書室の本、理科室の顕微鏡やフラスコ、給食の食器など思い思いの物品を運び出し、なかには跳び箱を持ち帰る人の姿も。物品が運び出された後の学校はまた少し寂しくなりましたが、思い出が染み込んだ品々は町内各地で「第二の人生」を歩むことでしょう。



▲校内を巡り、物品を運び出す住民ら

天高生が手紙の書き方学ぶ



8月27日、天塩高校2年生を対象とした「手紙の書き方体験授業」が行われました。日本郵便(株)北海道支社の手紙文化振興指導役・藤嶺和隆氏と寺岡重樹氏を講師として招き、職場体験の受け入れ事業所へのお礼状と宛名の書き方を指導しました。生徒らは、ポストに投函された手紙が宛先に届くまでの流れ等を学んだ後、実際に封筒や便箋への記入に取り掛かりました。畏まった形式の手紙に悪戦苦闘しながらも懸命に文章を紡ぎ、授業の後には「普段使わない言葉が多くて難しかった」「字を綺麗に書きたい」といった感想がこぼれました。



▲悩みながら手紙を書く生徒ら

お祭り気分！ サロンの縁日



8月29日、天塩町社会福祉協議会主催の「サロン縁日」が社会福祉会館で開催され、天塩・雄信内両地域の高齢者サロン参加者など約50名が集まりました。会場となった大ホールには射的や玉入れ、ボウリングやストラックアウトといったミニゲームが並び、ポップコーンやわたあめ、フランクフルトなども用意されてお祭り気分。参加者は会場を巡り、童心に帰ってゲームを楽しみ景品のお菓子を袋いっぱい獲得して、賑やかな時間を過ごしました。



▲縁日を楽しむ参加者ら

「管内ゆるキャラ」オリジナル切手



日本郵便(株)北海道支社では、「てしお仮面」を含む留萌管内のマスケットキャラクターをあしらったオリジナルフレーム切手「萌か留た」北海道の左上「留萌管内ゆるキャラ大集合」の販売を8月25日より開始しました。9月1日、日本郵便(株)留萌地区連絡会統括局長の長谷川増毛郵便局長、天塩郵便局長の佐藤局長、雄信内郵便局長の田中局長が吉田町長のもとを訪れ、ディスプレイ(1シート)が贈呈されました。同フレーム切手は留萌管内及び道内各所の郵便局で1シート1700円(85円切手5枚、110円切手5枚のセット)で限定500枚が販売されています。留萌管内の観光PRに「役買」ことが期待されています。



▲(右から) 田中局長、佐藤局長、長谷川統括局長

天小児童 「しじみ」を学ぶ



町の特産である「しじみ」について体験を通じて学ぶ「いきいき水産学園」が、天塩小学校3年生19名が参加し行われました。天塩川で実際にしじみ漁を行う様子を見学し、漁師さんから漁や船の説明を受けました。その後、北るもい漁業協同組合天塩支所を訪れ、選別機を使い、貝を大きさに選別する様子や、加工場でパック詰めする様子を見学しました。続けて、留萌地区水産技術普及指導所の坂口指導員を講師として、しじみが2cm以上に成長するには約7年かかる等の生態や特徴、また、解剖により部位ごとの機能や構造を学んだ他に、顕微鏡を使って幼生体も観察しました。



▲しじみ漁について、漁業者から説明を受ける児童ら

警察&消防による 水難救助訓練



9月2日、北海道警察旭川方面
天塩警察署主催による北留萌消防
組合天塩支署と合同での水難救助
訓練が鏡沼海浜公園にて行われま
した。警察署員8名、消防署員5
名が参加し、ゴムボート3艇を用
いて、水難事故や大雨災害が発生
した際に救助を迅速的確かつ安全
に対応するため実施されました。
訓練では、ボートの組立、操船、
溺れた人に見立てた水面に浮かべ
たタミール人形を救助し、ボートで
搬送する手順、ロープやスロー
バックを用いた救助方法の実演、
胴長靴を履いた状態での訓練を行
いました。今回、警察と消防によ
る合同訓練は2年ぶりに実施され
ました。



▲警察と消防が合同で水難救助訓練を行う様子

サイバー防犯 ボランティア



9月4日、天塩警察署で「サイ
バー防犯ボランティア講習会」が
開催され、役場職員や町内の金融
機関職員、高校教諭など12名が参
加しました。サイバー防犯ボラン
ティアとは、インターネットやS
NSなどを悪用したサイバー犯罪
の被害防止のための教育活動や広
報啓発活動、サイバー空間の浄化
活動などを行う自主的な防犯活動
です。講習では、近年増加傾向に
あるサイバー犯罪の被害事例のほ
か、SNS上で行われているいわ
ゆる「闇バイト」の募集や、隠語
を使った薬物の取引等を見つけた
時に通報する手順などを学びまし
た。



▲講習会の様子

天塩町 防災訓練



9月6日、スポーツセンターで
今年度の防災訓練・防災講話が行
われました。講話では、今年6月
に公表された日本海沿岸で発生す
る地震・津波の新被害想定と、過
去の災害の映像やデータを交えな
がら日頃の備えや適切な避難行動
で被害を抑えられること等が説明
されました。駐車場で行われた車
両・装備品展示では、自衛隊車両
や消防車のほか、北海道には1台
しか配備されていない道警機動隊
の高性能救助車（ウニモグ・写真
左上）も登場し、乗車したり記念
撮影をしたりする人々に賑わいま
した。講話の後には、自衛隊の炊
き出し設備で調理されたわかめご
飯と豚汁が振る舞われました。



▲講話のほか、車両展示や炊き出しが行われた

天塩フェニックス 全道大会出場



バレーボール少年団「天塩フェ
ニックス」は、9月20・21日に深
川市で開催される「第23回北海道
スポーツ少年団バレーボール交流
大会」と、11月1・2日に富良野
市で開催される「第45回イスタ
杯北海道小学生バレーボール大
会」への出場が決まり、9月8日
に大会に出場する団員らが役場を
訪れ、吉田町長に出場報告を行い
ました。主将の吉田征叶さんは「交
流大会は全国大会へ行ける今年最
後のチャンスなので頑張りたい。
イスタ杯は3位までのチームが
全国大会に行けるが1位で通過し
たい」と意気込みを語り、町長は
「全国大会を狙ってください。期
待しています」と激励しました。



▲全道大会へ臨む団員ら

羽幌フェニックスM 全道大会出場



管内の中学生で構成される野球
チーム「羽幌フェニックスミドル」
は、9月13日から遠軽町で開催さ
れる「文部科学大臣杯 第17回全
日本少年春季軟式野球大会ENE
OSTーナメント 北海道少年軟
式野球選抜選手権大会 名鉄観光
トーナメント北・北海道大会」へ
の出場が決まり、9月8日、同
チームに所属している天塩中学校
1年生の穴戸皓哉さんと中岡憂莉
さんが吉田町長に出場報告を行
いました。2人は「メンバーが11人
しかいないが、自分たちの野球を
して最後まで頑張りたい」と話し、
町長は自身の野球経験にも触れつ
つ、「ケガに気を付けて、上位を
狙ってください」と激励しました。



▲全道大会に出場する中岡さん（左）と穴戸さん（右）